

2023年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月14日

上場会社名 株式会社アスタリスク 上場取引所 東
 コード番号 6522 URL https://asx.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 鈴木 規之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括室長 (氏名) 山本 和矢 (TEL) 050-5838-7864
 四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第3四半期の連結業績(2022年9月1日~2023年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	1,227	△32.6	△153	-	△126	-	△143	-
2022年8月期第3四半期	1,822	24.1	266	△6.3	323	12.8	198	△10.1

(注) 包括利益 2023年8月期第3四半期 △142百万円(-%) 2022年8月期第3四半期 203百万円(△11.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第3四半期	△20.33	-
2022年8月期第3四半期	29.05	27.93

(注) 1. 当社は、2021年11月27日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前第3四半期連結累計期間の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 当第3四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第3四半期	2,781	1,958	70.4
2022年8月期	2,519	2,072	82.2

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 1,958百万円 2022年8月期 2,072百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年8月期	-	0.00	-	-	-
2023年8月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日~2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	1,821	△24.4	△137	-	△133	-	△144	-	△20.34	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年8月期3Q	7,105,400株	2022年8月期	7,055,400株
2023年8月期3Q	一株	2022年8月期	一株
2023年8月期3Q	7,077,400株	2022年8月期3Q	6,839,380株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、ウィズコロナへの転換が進んでいることで新型コロナウイルス感染症による景気の影響が和らいできております。しかしながら、長期化するロシア・ウクライナ情勢並びに円安の影響等に伴い原材料価格及び資源・エネルギー価格の高騰による物価の上昇等により、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような環境の下、当社グループは、「事業計画及び成長可能性に関する事項について記載した書面」に記載のとおり、次の成長戦略を実行してまいりました。

(既存主力事業)

主にバーコードリーダーや赤外線通信用リーダーのハード及び保守メンテナンス売上、受託開発の進捗売上及びシステム保守売上を計上、また受注状況においては、小売店向けの大型受注を獲得する結果となりました。

(新製品の開発/販売)

顔認証技術を活用した新製品「AsReaderGoMA」の最終調整に入っております。

(営業力の強化)

大手キャリア様との協業体制を強化し、継続して案件の御紹介をいただくとともに、新規受注の拡大を目指した営業活動手法の検討を進めております。

(海外展開)

海外大手飲料メーカーの追加注文及び納入がありました。更なる追加注文の獲得を目指すとともに、新規の大口案件を獲得するための営業活動を進めております。

2023年4月25日の取締役会において、オランダを本拠とするAsReader Europe B.V.の解散及び清算を決議、2023年6月末日に手続き完了を予定しております。販売拠点が減少いたしますが、アメリカを本拠とするAsReader, Inc.からの拡販を可能とする体制を整備いたしました。今後のヨーロッパ市場への拡販は継続して行っております。

以上の取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,227,646千円(前年同期比32.6%減)、営業損失153,074千円、(前年同期は266,907千円の営業利益)、経常損失126,615千円、(前年同期は323,250千円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失143,858千円(前年同期は198,695千円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①AsReader事業

AsReader事業の連結売上高は902,857千円(前年同期比40.2%減)、セグメント損失は29,944千円(前年同期は428,053千円のセグメント利益)となりました。当社主力商品である「AsReader」の販売では、国内向けでは、製造業界、自動販売機業界、医療業界、食品業界、卸売業界への販売が堅調に推移したほか、卸売業界への新規納入がありました。海外向けでは、飲料メーカーへの追加納入がありました。

一方で、新製品の販売が当初の計画よりずれ込んだことによる開発費用の追加発生及び、滞留在庫に対する商品評価損の計上などの影響により、セグメント損失が発生する結果となりました。

②システムインテグレーション事業

システムインテグレーション事業の連結売上高は322,262千円(前年同期比3.5%増)、セグメント利益は28,149千円(前年同期は3,819千円のセグメント損失)となりました。物流業界向け、小売業界向けなどのシステム開発の受注があり、一部で進捗が遅れている案件もありますが、概ね堅調に推移しました。また、前年同期に一部不採算案件に対して受注損失引当金を計上していたため、当期のセグメント利益が前年同期と比べ、大幅に改善する結果となりました。

③賃貸事業

2023年8月期第2四半期連結会計期間に竣工したAsTech Osaka Buildingの建設地が大阪市の定める特別用途地区(中高層階住居専用地区)に該当することから、7階~9階の3フロアを住居として賃貸することとなり

ました。当該賃貸開始に伴い賃貸事業セグメントを追加しております。

2023年1月から入居者の募集を開始し、2023年8月期第3四半期末において入居率100%となった結果、賃貸事業の連結売上高は2,526千円、セグメント損失は1,962千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、2,781,305千円となり、前連結会計年度末の2,519,553千円と比べ、261,752千円の増加となりました。主な要因は、商品及び製品の増加347,866千円、有形固定資産の増加282,077千円、投資有価証券の増加101,250千円、その他流動資産のうち前渡金の増加100,101千円、その他流動資産のうち仮払法人税等の増加86,006千円、無形固定資産の増加19,508千円、投資その他の資産のうち長期前払費用の増加16,746千円、投資その他の資産のうち繰延税金資産の減少12,342千円、売掛金及び契約資産の減少50,403千円、現金及び預金の減少638,554千円によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、822,869千円となり、前連結会計年度末の447,333千円と比べ375,536千円の増加となりました。その主な要因は、短期借入金の増加500,000千円、賞与引当金の増加18,006千円、製品保証引当金の減少9,960千円、その他流動負債のうちの契約負債の減少20,027千円、買掛金の減少30,297千円、未払法人税等の減少85,290千円によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、1,958,435千円となり、前連結会計年度末の2,072,219千円と比べ113,784千円の減少となりました。その主な要因は、資本金の増加14,375千円、資本剰余金の増加14,375千円、利益剰余金の減少143,858千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第3四半期連結累計期間の業績等を踏まえ検討した結果、2023年3月31日に公表いたしました「第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」における通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	936,086	297,531
売掛金及び契約資産	328,675	278,272
商品及び製品	276,415	624,281
原材料及び貯蔵品	44,080	47,914
その他	70,723	256,727
貸倒引当金	△2,905	△2,271
流動資産合計	1,653,075	1,502,456
固定資産		
有形固定資産		
建物	—	484,953
減価償却累計額	—	△4,041
建物(純額)	—	480,912
建物附属設備	1,993	148,379
減価償却累計額	△642	△5,265
建物附属設備(純額)	1,351	143,113
構築物	—	18,101
減価償却累計額	—	△341
構築物(純額)	—	17,759
車両運搬具	641	641
減価償却累計額	△641	△641
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	134,086	173,977
減価償却累計額	△122,926	△141,098
工具、器具及び備品(純額)	11,160	32,879
土地	292,589	292,589
建設仮勘定	380,076	—
有形固定資産合計	685,177	967,254
無形固定資産	17,593	37,102
投資その他の資産		
投資有価証券	104,000	205,250
その他	60,060	69,597
貸倒引当金	△355	△355
投資その他の資産合計	163,705	274,492
固定資産合計	866,477	1,278,849
資産合計	2,519,553	2,781,305

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	163,265	132,968
短期借入金	—	500,000
未払法人税等	116,868	31,578
賞与引当金	43,710	61,716
製品保証引当金	17,245	7,284
受注損失引当金	4,781	4,119
その他	99,818	83,558
流動負債合計	445,689	821,226
固定負債		
資産除去債務	1,643	1,643
固定負債合計	1,643	1,643
負債合計	447,333	822,869
純資産の部		
株主資本		
資本金	789,412	803,787
資本剰余金	779,412	793,787
利益剰余金	501,633	357,775
株主資本合計	2,070,458	1,955,350
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,761	3,085
その他の包括利益累計額合計	1,761	3,085
純資産合計	2,072,219	1,958,435
負債純資産合計	2,519,553	2,781,305

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
売上高	1,822,054	1,227,646
売上原価	1,043,635	824,176
売上総利益	778,419	403,469
販売費及び一般管理費	511,511	556,544
営業利益又は営業損失(△)	266,907	△153,074
営業外収益		
受取利息及び配当金	99	181
為替差益	55,772	25,826
雑収入	602	1,075
営業外収益合計	56,474	27,083
営業外費用		
支払利息	23	514
貸倒引当金繰入額	—	109
雑支出	108	—
営業外費用合計	132	623
経常利益又は経常損失(△)	323,250	△126,615
特別利益		
補助金収入	144	2,061
その他	67	—
特別利益合計	211	2,061
特別損失		
固定資産除却損	0	66
特別損失合計	0	66
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	323,461	△124,620
法人税、住民税及び事業税	106,980	6,895
法人税等調整額	17,785	12,342
法人税等合計	124,765	19,238
四半期純利益又は四半期純損失(△)	198,695	△143,858
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	198,695	△143,858

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	198,695	△143,858
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	4,637	1,324
その他の包括利益合計	4,637	1,324
四半期包括利益	203,333	△142,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	203,333	△142,534
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当する事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。